

第3回

# オープンリサーチ プログラム

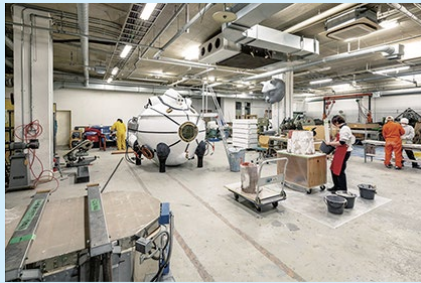
博士の  
将来像に向けて  
2019年度

京都市立芸術大学  
美術研究科主催

» テーマ「博士ラボ・共有工房のあり方について」

（オープンリサーチ）は、京芸移転に向けた教育や研究の可能性について探求するために開かれる現在進行形のプログラムとして構想され、シリーズとして継続していく計画です。

第3回では、昨年、大きく生まれ変わった京都造形芸術大学・ウルトラファクトリーのディレクターのヤノベケンジ氏とマネージャーの清水千帆氏をお招きして、その成り立ちや進化、運営方法などをじっくり伺います。



© Copyright KENJI YANOBE

PART 01 ゲスト講師による  
オープンレクチャー 15:00  
|  
16:20

ヤノベケンジ氏

(京都造形芸術大学 教授 ウルトラファクトリーディレクター)

「ウルトラファクトリーの成り立ちと進化」

清水千帆氏

(京都造形芸術大学 企画広報課 ウルトラファクトリー担当)

「ウルトラファクトリーの運営方法」

PART 02 トークセッション 16:30  
|  
17:30

ゲスト講師 (ヤノベケンジ氏・清水千帆氏)

坂東幸輔 (美術学部講師 / 建築)

砂山太一 (美術学部講師 / デザイン・現代美術・計算幾何学)

## ▶ ULTRA FACTORY

ウルトラファクトリーは、京都造形芸術大学教授 ヤノベケンジ氏がディレクターを務める、トップクリエイターと共に制作する世界基準の工房。「想像しうるものはすべて実現可能」と宣言し、あらゆる機械・工具や技術スタッフをそろえ、金属、木材、樹脂加工や、シルクスクリーン、デジタル造形が自在に。二足歩行ロボットや巨大な映画美術セットを制作できる工房を全学生に開放しています。

[京都造形芸術大学 / ウルトラファクトリー]  
www.kyoto-art.ac.jp/art/special/ultra/

2019.12.13 金 15:00  
|  
17:30

会場 / 京都市立芸術大学  
大学会館交流室

《申込不要》  
どなたでも自由に  
ご参加いただけます。